

高等教育活性化シリーズ 248 (通算 572 回)

2013 年 11 月 27 日 (水)

2010 年代の「理事長」という仕事～魅力と覚悟——

## 法人経営構想力とガバナンス改革の展開

高等教育活性化シリーズ 249 (通算 573 回)

2013 年 12 月 3 日 (火)

学長リーダーシップの強化シナリオ——

## 教学マネジメントの再構築と実現方策の実際

2010 年代の「理事長」という仕事～魅力と覚悟——

### 法人経営構想力とガバナンス改革の展開

～ 創設理念・夢の継承／学長・教授会への総理／教職員の風土改革／理事会・補佐体制の強化 ～

- ※ [文京学園] 学園総合力の発展／理事長・学長・教職員一体となった教学運営／中学・高校も大改革
- ※ [追手門学院] 理事会の責任と教授会の責務／教授会の諮問機関化／理事会・評議会改革
- ※ [福原学園] 工学部廃止の苦渋の決断／実行を支えたマネジメント／一步先んじたガバナンス強化策
- ※ 多様な私学とガバナンス／中教審・大学分科会での議論／学校法人制度 63 年間ガバナンス不在？

● 講師陣 ●

島田 燁子 氏 / (学) 文京学園 理事長  
川原 俊明 氏 / (学) 追手門学院 理事長  
福原 弘之 氏 / (学) 福原学園 理事長 九州共立大学 学長  
九州女子大学 学長 九州女子短期大学 学長  
佐藤東洋士 氏 / (学) 桜美林学園 理事長・総長 大学設置・学校法人審議会 会長

2013 年 11 月 27 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麴町)

学長リーダーシップの強化シナリオ——

## 教学マネジメントの再構築と実現方策の実際

～ 学部長・教員人事評価／教授会のスリム化／学長裁量経費／学長補佐体制 ～

- ※ [東洋大] 学長の役割と権限／グローバル人材育成への教学改革／教育人事・評価の新展開
- ※ [武蔵野大] 次世代育成の教学マネジメント／9 学部 7 研究科・2 キャンパスの展開力
- ※ [追手門学院大] 教授会の学長諮問機関化と学長の責務／改革に至る外的・内的要因とは
- ※ 学長への期待／富士山とエベレストはどこが違う／PDCAとAO／教員人事と評価

● 講師陣 ●

竹村 牧男 氏 / 東洋大学 学長  
寺崎 修 氏 / 武蔵野大学 学長  
坂井東洋男 氏 / 追手門学院大学 学長  
千葉 喬三 氏 / (学) 就実学園 理事長 前 岡山大学 学長

2013 年 12 月 3 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麴町)

[ 参加要領 ]

日時：■高等教育活性化シリーズ 248 法人経営構想力とガバナンス改革の展開  
2013年11月27日(水) 10:00~16:40

■高等教育活性化シリーズ 249 教学マネジメントの再構築と実現方策の実際  
2013年12月3日(火) 10:00~16:40

会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)※両日程、同会場

千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ248 法人経営構想力とガバナンス改革の展開	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ249 教学マネジメントの再構築と実現方策の実際	40,000円 (消費税込)	41,000円(送料、消費税込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。

※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAXまたはEmailにてご送付ください。  
※受講証及び会場地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 郵便振替：00110-8-81660  
口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJのURLにてご覧ください。

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106  
高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書 2013年 月 日

■高等教育活性化シリーズ248 (□に✓印を入れてください)

法人経営構想力とガバナンス改革の展開 □ 当日参加 □ メディア参加

■高等教育活性化シリーズ249

教学マネジメントの再構築と実現方策の実際 □ 当日参加 □ メディア参加

支払方法 □ 当日払い □ 銀行振込 □ 郵便振替

必要書類 □ 請求書 □ 見積書

勤務先 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 11:20	<p>□ [文京学園] 創立90周年に向けた学園総合力の発展                      文京学園 島田 燦子</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 創立から今日までの歩み                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 創立者による女子の中等教育から短期大学教育へ</li> <li>(2) 「校訓」と教職協働の教育。校地拡張で苦勞の連続</li> <li>(3) 創立者の精神を受け継ぎ学園経営の3本の柱</li> <li>(4) 四年制大学開設。短期大学の四年制化、共学化</li> <li>(5) 現在4学部10学科、大学院4研究科。来春、看護学科を開設</li> </ol> </li> <li>2. 理事長・学長・教職員一体となった教学運営                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 理事会の構成とリーダーシップ。大学中期運営計画の推進</li> <li>(2) 「大学運営会議」(学長が議長となり、学園長、副学長、学長補佐、学部長、研究科長、学生部長、大学担当理事、事務局長)を設置。発足時は諮問機関であったが、最近、決定機関とした</li> <li>(3) 法人及び大学事務組織(ディレクター・センター・グループ制)</li> <li>(4) 学長が議長となる全学教授会を年3回開催。各学部教授会は毎月開催</li> <li>(5) 教職員の風土改革としての各種研修会を頻繁に開催</li> <li>(6) 大学横断で15年にわたる5度の「新・文明の旅」プログラム。つづいて「Bunkyo GCI(グローバル・キャリア・インスティテュート)」プログラムを若手教職員チームで企画、実施中</li> </ol> </li> <li>3. 中学・高校も一大改革～SSH高校・国際塾世界へ羽ばたきたかった創立者の夢を実現し、21世紀を生きる人びとのキャリアを育てる。大学が協力する</li> <li>4. 創立者の『私の歩んだ道』を取り込んで「人間共生論」を大学1年生の必修科目に。中学・高校でもキャリア教育の柱とする</li> <li>5. これからの社会に適した学園財務・経営をさぐる <span style="float:right">〈質疑応答〉</span></li> </ol>
11:30 12:50	<p>□ [追手門学院] 大学ガバナンス改革の実現に向けて                      ～ 大学は誰のためにあるのか/教授会の学長諮問機関化を実現 ～                      追手門学院 川原 俊明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事会と教授会の権限と責任                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 追手門学院の歴史と現状</li> <li>(2) 理事会は責任を果たしてきたか</li> <li>(3) 教授会の責務は何か</li> </ol> </li> <li>2. 大学ガバナンス改革の歩み                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「教授会自治」の法的考察</li> <li>(2) 改正私学法と学校教育法</li> <li>(3) 理事会改革検討委員会発足</li> </ol> </li> <li>3. さらなる改革に向けて                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教授会中心から学生中心へ</li> <li>(2) 選挙制度の徹底廃止</li> <li>(3) 学部の壁をぶち破る</li> <li>(4) 理事会・評議員会改革</li> <li>(5) すべては学生のために <span style="float:right">〈質疑応答〉</span></li> </ol> </li> </ol>
13:50 15:10	<p>□ [福原学園] 私学法改正を受けて如何にガバナンス強化に取り組んだか                      ～ 工学部廃止の決断と実行を支えたマネジメント ～                      福原学園 福原 弘之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工学部廃止～苦渋の決断をするまで                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 廃止の遠因は理工系離れ?</li> <li>(2) 学科改組を繰り返したが...</li> <li>(3) 段階的に募集停止～理事会の苦渋の決断</li> </ol> </li> <li>2. 工学部廃止の決断後～円滑な実行を可能にするために                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学内の対応 ①学生への対応～教育の担保 ②教員への対応～解雇回避策の展開</li> <li>(2) 学外への対応</li> </ol> </li> <li>3. 一歩先んじて進めた福原学園のガバナンス強化策                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 諮問機関を明確に位置づけた寄附行為施行細則の制定</li> <li>(2) ガバナンスを発揮するための第一歩 ①規則等の改正 ②給与へ反映させた評価制度の実施</li> <li>(3) 理事長の学長兼務を支える体制の構築 <span style="float:right">〈質疑応答〉</span></li> </ol> </li> </ol>
15:20 16:40	<p>□ 多様な私学とガバナンス                      ～ 最近の中教審、大学分科会の議論を踏まえて ～                      桜美林学園 佐藤東洋士</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最近の大学分科会におけるガバナンス議論                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 過去の分科会のまとめにおける議論の検証</li> <li>(2) 質的転換答申におけるガバナンス</li> <li>(3) ガバナンスをめぐる大学と企業の認識の違い</li> </ol> </li> <li>2. 諸外国と異なる我が国の大学事情                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) モデルとされているアメリカの大学マネジメント</li> <li>(2) アメリカの大学ガバナンスを支えるもの</li> <li>(3) 学士課程アンケートに表れる日本の大学のガバナンス</li> <li>(4) 大学制度における国公私立から私国公へのパラダイムシフトの必要性</li> <li>(5) 私立大学の数値による鳥瞰とファンディング議論</li> </ol> </li> <li>3. 学校法人制度63年間に、大学ガバナンスは不在であったのか～用語に対する不快感                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「教授会の、教授会による、教授会のための」議論</li> <li>(2) 大学建学の理念を具現化する多様なリーダーシップ</li> <li>(3) むすびの私見 <span style="float:right">〈質疑応答〉</span></li> </ol> </li> </ol>

時間	講義項目
<p>10:00 }</p> <p>11:20</p>	<p>□ [東洋大] 大学マネジメントと教育改革の課題 ～ 質の転換の保証システムを求めて～ 東洋大学 竹村 牧男</p> <p>1. 東洋大学のマネジメント体制について (1) 法人執行部と教学執行部の関係 (2) 学長の役割と権限 (3) 学部教授会の現状 (4) 全学的事項にかかる意思決定方法の改革の必要性</p> <p>2. グローバル人材育成への教育改革 (1) 教育の質の転換を求めて～グローバル人材育成の追求 (2) 特に英語力育成への諸施策について (3) 教育内容・教育手法・教育環境の改善への歩み (4) 内部質保証システムの構築に向けて</p> <p>3. 教員人事の課題と改革 (1) 従来の教員人事のあり方の問題点 (2) 教員採用方針～研究業績一辺倒から教育能力重視へ (3) 理事長面接の導入の波紋～任免権と選考権の相克 (4) 教員評価の課題と展望 〈質疑応答〉</p>
<p>11:30 }</p> <p>12:50</p>	<p>□ [武蔵野大] 次世代育成の教学マネジメント—15年余の展開力 ～ 9学部7研究科14研究所等の驚異的發展～ 武蔵野大学 寺崎 修</p> <p>1. 建学の精神 (1) 創立者 高楠順次郎 (2) 築地本願寺境内で創設 (3) 武蔵野キャンパスへ移転</p> <p>2. 男女共学化と総合大学への脱皮 (1) 理事会の強化と学部増 (2) 男女共学化 (3) 有明キャンパスの開設と法学部と経済学部の設置 (4) 2キャンパス・9学部の教学マネジメント</p> <p>3. 創立100周年へ向けて (1) 私学冷遇の文科行政にいかに対応すべきか (2) 本学の100周年以後を展望する 〈質疑応答〉</p>
<p>13:50 }</p> <p>15:10</p>	<p>□ [追手門大] 教授会の学長諮問機関化 ～ 追手門学院大学のガバナンス改革～ 追手門学院大学 坂井東洋男</p> <p>1. 諮問機関化への道のり (1) 学則改正と教授会規定の改正 (2) 諮問機関化に伴う学長の責務と教員の役割</p> <p>2. 改革を迫る外的要因と内的要因 (1) 経済同友会の提言 (2) 改革前の学内状況</p> <p>3. 諮問機関化に先行する様々な改革 (1) 大学教育研究評議会の審議事項から管理運営を削除 (2) 学部長の選任方法の改正および副学部長と学部長補佐の新設 (3) 学長選考制度の改正 (4) 改革に必要な果敢な気概と耳を傾ける謙虚さ 〈質疑応答〉</p>
<p>15:20 }</p> <p>16:40</p>	<p>□ 富士山とエベレストはどこが違うのか ～ 再び問う 大学におけるPDCAとA0の必要性～ 就実学園 千葉 喬三</p> <p>1. 日本は「のう」の国である (1) 国・民族の存立を保障するのは保有資源である (2) この国ですぐに使える自然資源はNOに等しい (3) 使える資源は脳だけである (4) 脳資源は無尽蔵であるが、鍛えねば唯の臓器である</p> <p>2. 危機感の無いこの国の教育従事者 (1) 堀の中の独善者集団 (2) 堀の中の無関心集団 (3) 堀の外の無責任集団</p> <p>3. システム(社会・個人)を成長させるプロセスは唯一無二である (1) ‘結果を出せる’人間はどこが違うか (2) 社会(組織)ではどうして成長しにくい (3) 評価文化の希薄な日本の社会伝統 (4) 評価のための評価ならどこでも誰でもできる</p> <p>4. 日本の大学の競争力強化は現場の効率化から (1) 「教育」と「研究」を高レベルでこなすスーパー教員は何人 (2) 「研究」に対する異様な執着と偏見 (3) Administration Office(Staff)の実態化と権限付与 (4) 現代社会の成功Key Wordは「Quality」と「Speed」である 〈質疑応答〉</p>